

ユキウサギ

頭胴長50～58cm，尾は5～8cmで，わが国に分布する野ウサギのなかで最も大きい。夏毛は灰褐色であるが，冬毛は，耳の先のセピア色になるほかは，白色となる。全道的な生息密度は低く，100haあたり5～6頭ほどと推定される。

【学名】 *Lepus timidus*

【分類】 ウサギ目(Lagomorpha)，ウサギ科 (Leporidae)

【分布】 北海道，サハリン，ロシア沿海地方，シベリア。

【特徴】

北海道に自然分布するウサギ類は，本種のほかに，ナキウサギ *Ochotona hyperborea* がいるが，体の大きさからしても間違ふことはない。渡島大島と松前小島には移入種のアノウサギ *Oryctolagus cuniculus* が野生化している。

【生態】

春から夏は広葉樹の葉や草本類を食べ，秋から冬にかけて木本類の芽や樹皮を食べる。若木の頂端部などを切断することが多い。とくにカンバ類を好む。夜行性で，昼間は隠れ場所で休んでいる。出産は4月から9月にかけて，一回に1～5仔，ふつう2～3仔を産む。寿命は野外では2～3年らしい。冬季の調査例によると，一夜の行動距離は320～1,831mである。

【加害樹種】

針葉樹と広葉樹のほとんどの樹種をかじる。好んでかじる樹種とあまりかじらない嫌いな樹種とがある（表－1）。

表－1 ユキウサギの樹種ごとの好き，きらい（犬飼，1953）

好き	カラマツ，アカマツ，ハイマツ，ヤマモミジ，ミズナラ，コナラ，カシワ，エゾヤマザクラ，アカシデ，アサダ，ウダイカンバ，ダケカンバ，ドロノキ，セイヨウハコヤナギ，セイヨウリンゴ
↑	ゴヨウマツ，イチイ，クロビイタヤ，ハウチワカエデ，ヤマハンノキ，ヌルデ，ワタゲカマツカ，アズキナシ，ハクウンボク，アオダモ，サワグルミ，タラノキ
↓	グイマツ，エゾマツ，トドマツ，ヨーロッパトウヒ，ツノハシバミ，ハシドイ，ホオノキ，キタコブシ，カツラ，エゾニワトコ，ニガキ，ブナ，ヤマツツジ，ヤマグワ，ノリウツギ，サルナシ
きらい	イヌエンジュ

【被害と防除】

ユキウサギ対策としては、かじられにくい樹種を植栽するか、忌避剤を散布（あるいは塗布）する。ワナ等で捕獲する方法もあるが、ユキウサギの生息密度は低いので、樹木をかじらせないようにするやり方が勧められる。ウサギが好んでかじる樹種は表-1のようになっている。忌避剤にはチウラム剤やジラム剤、石油アスファルト剤がある。



1. 幹先端の食害.

下川, カラマツ, 1990/5.



2. 幹の樹皮食害.

上砂川, ケヤマハンノキ, 1989/5.

【文献】

犬飼哲夫(1953) 野兎の好む樹種. 森林防疫ニュース10:57.

桑畑 勤(1996) 動物の林業被害ハンドブック(獣類編). 13pp. 全国森林病虫獣防除協会, 東京.

中田圭亮(1998a) ミズナラの獣害と防除方法.(広葉樹育成ガイド—ミズナラ林の造成. 独立地方行政法人 北海道立総合研究機構 林業試験場監修, 191pp, 北海道林業改良普及協会, 札幌). 150-156.

中田圭亮 (2000a) 北海道におけるカンバ類とヤチダモの獣害と防除方法 (I). 森林保護, 275:2-4.

中田圭亮 (2000b) 北海道におけるカンバ類とヤチダモの獣害と防除方法 (II). 森林保護, 276:15-16.

農林水産省森林総合研究所鳥獣管理研究室 (編) (1992) 哺乳類による森林被害ウオッチング-加害動物を判定するために. 29pp, 林業科学技術振興所, 東京.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ユキウサギ yukiusa/
kaisetu.htm

「文章」中田圭亮, 北海道立林業試験場, 2001/12/10.

sakigui.JPG, hagata.JPG

「写真1～2」中田圭亮, 北海道立林業試験場, 1989-1990.